

NEWS RELEASE

平成 21 年 10 月 28 日

**電通汐留本社ビルの全執務ゾーンに LED 照明を導入
— 年間 CO2 排出量を約 1,146 トン、前年比約 5%削減 —**

株式会社電通（社長：高嶋達佳 以下、電通）は、2010 年 1 月末完工を目指して、汐留本社ビル 6 階から 43 階の全執務ゾーン内及び本社ビル併設の商業施設「カレッタ」内の蛍光管、ダウンライトを、発光ダイオード光源の LED 照明に交換します。LED 照明は、省電力、省 CO2、省廃棄物効果に優れており、この交換により、本社ビルの年間 CO2 排出量を約 1,146 トン、約 5% (2008 年比) 削減することができます。

当社グループは地球環境問題を重要なテーマとして捉え、これまでも広告業界のリーディングカンパニーとして、環境問題に関する様々な自社の取組みや、クライアント企業、メディア企業に対する環境コミュニケーション関連の様々な企画・提案を行ってまいりました。

2008 年には、電通社内に社長を議長とする「環境戦略会議」を設置し、環境問題への対応を積極的に推進してまいりました。そのような当社の取組みが評価され、環境省が創設した「エコ・ファースト制度」において、「エコ・ファースト企業」の認定を受けております。また、2009 年には、国内全事業所及びグループ会社 56 社で、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」を取得しております。

オフィス関連の環境への取組みとしては、2008 年、当社汐留本社ビルの CO2 削減計画が、「東京都地球温暖化対策計画書制度」で最高評価 AA+ を獲得しておりますが、この度、温暖化対策の照明分野の切り札と目され、環境省や国交省が普及促進を図っている発光ダイオード光源の LED 照明を積極的に汐留本社ビルに設置することといたしました。本社ビル 6 階から 43 階の全執務ゾーン内及び「カレッタ」内の蛍光管 11,226 本、ダウンライト 5,956 本、計 17,182 本を、2010 年 1 月末完工を目指して LED 照明に交換します。

なお、汐留本社ビルへの LED 照明導入後は、関西・中部・関係会社への展開も検討しており、当社グループは今後も環境先進企業として、積極的に地球環境保全を推進してまいります。

<LED 照明導入による効果>

・省コスト効果

照明電力量 2,843,252kWh 減/年 -10.4% (2008 年比)

・省 CO2 効果

CO2 排出量 1,146 トン減/年 -5% (2008 年比)

・省廃棄物効果

現行の蛍光管には水銀を含むガスが封入されており、有害廃棄物として回収されているが、LED 照明にすれば水銀汚染につながらない。

(現行の撤去した蛍光管はストックし、地下駐車場などで再利用する計画です。)

以上